

慶應義塾全体の実験動物の飼養保管状況等

1. 年度ごとに実験動物の種類と飼養数（全塾）

動物種	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度（中央のみ）
	飼養数	飼養数	飼養数	飼養数	飼養数
マウス	33,000	29,000	33,000	28,000	19,000
ラット	890	950	740	540	320
ウサギ	12	36	17	32	10
モルモット	0	0	3	10	0
スナネズミ	80	0	15	48	0
イヌ	0	2	2	6	9
ブタ	6	4	5	4	4
マーモセット	20	10	2	0	0
ハムスター	0	0	0	2	0
ニワトリ	0	孵卵37	0		
ウズラ	0	0	0	0	
その他トリ類	99	128	168	136	
アフリカツメカエル	6	6	5		

（毎年度10月1日 現在）

2. 年度ごとの承認された動物実験計画数（1年ごとの更新；全塾）

動物実験計画数	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度
	254件	297件	168件	175件	267件

3. 年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数（5年ごとの更新；全塾）

教育訓練受講者数	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度
	459人	487人	422人	406人	431人

4. 実験動物飼養保管施設（総数：57施設）

医学部動物実験センター、薬学部芝共立実験動物施設、他55施設

5. 動物実験委員会（計8名）

- （ア）動物実験等に関して優れた識見を有する者：5名（医学部細胞組織学、
医学部解剖学、薬学部薬物治療学、理工学部生命情報学、文学部生物学）
- （イ）実験動物に関して優れた識見を有する者：2名（医学部動物実験センター、
他大学の教員）
- （ウ）その他学識経験を有する者：1名（外部の学識経験者）